

注意 …取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性があります。

1. 天板の耐荷重は20kgです。耐荷重以上の物を天板に載せないでください。
商品の破損・怪我の原因になります。
2. 天板の高さや角度の調整は、物を載せていない状態で行ってください。
物が落下し怪我の原因になります。
3. ノブボルトを緩める際は、必ず天板を手で支えてください。
天板が回転し怪我の原因になります。
4. 可動部(金具やキャスター)の隙間に指を入れしないでください。
指を挟み怪我の原因になります。
5. 商品を移動させる際は、天板に物を載せないでください。
移動中に物が落下し、商品の破損・怪我の原因になります。
6. 商品を移動させる際は、床の段差や溝にご注意ください。
商品の転倒による破損・怪我の原因になります。
7. 商品の上に乗ったり、腰を掛けたりしないでください。
商品の破損・怪我の原因になります。
8. 床に傾斜や段差のある場所、また、不安定な場所では使用しないでください。
商品の転倒による怪我の原因になります。
9. ボルトやネジが緩んだまま使用しないでください。
商品の破損・怪我の原因になります。
10. 商品を持ち上げる際は、天板と昇降支柱の白い部分を持ってください。
天板のみを持ち上げても昇降支柱が伸びてしまい、商品を持ち上げることができません。
11. この商品を他の人が使用する時は、この取扱説明書をよく読んでから使用するよう
にご指導ください。

末永くご使用いただくために

1. この商品は屋内用です。屋外でのご使用や水濡れは、故障やさび・変色の原因となります。
2. 商品のお手入れについて
 - 日常のお手入れは乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。
 - 汚れが著しい場合は、薄めた中性洗剤につけた布をかたく絞って拭いてください。
磨き粉・タワシ・ベンジン・シンナー・ガソリン・石油・酸類・化学雑巾などは塗装面をいためることがありますので、ご使用にならないでください。

品質表示

主な部品材質
 天板/表面材…ポリエステルMDF
 芯材 …ペーパーコア・パーチクルボード
 エッジ …塩化ビニール
 支柱、ベース …スチール
 キャスター …エラストマー

(検) 本商品は自主検査に合格しております

商品改良のため予告なく仕様を変更する場合があります。予めご了承ください。

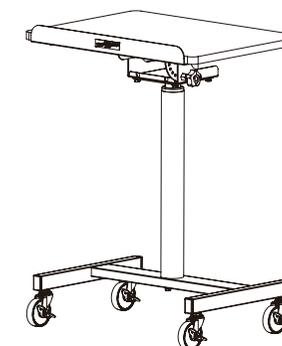
表示者

山金工業株式会社
 お客様ご相談窓口 TEL:06-6974-8511
 FAX:06-6972-7104
 URL:http://www.yamakin-kougyou.co.jp/

アフターサービスについて
 ご不明な点や修理については、
 お買い上げの販売店までご連絡ください。

取扱説明書

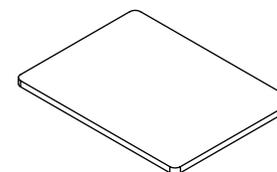
ワークテーブル 昇降傾斜タイプ



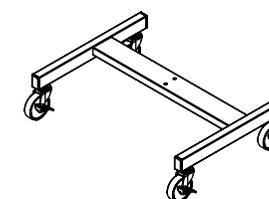
この度はお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 この説明書は、本商品の取り付け方と使用上の注意事項が記載してあります。
 正しく安全にお使いいただくためにも、この説明書をよくお読みになり、内容をご理解いただいた上で、
 ご使用くださいますようお願いいたします。

梱包内容

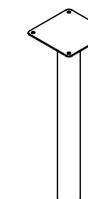
天板：1枚



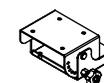
ベース：1セット



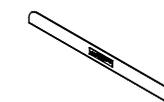
昇降支柱：1セット



天板金具：1セット



コボレ止め：1個



組立ボルト：12本

ボルト M8×15
 ボルト M8×55
 化粧ネジ M6×15

取扱説明書：本票



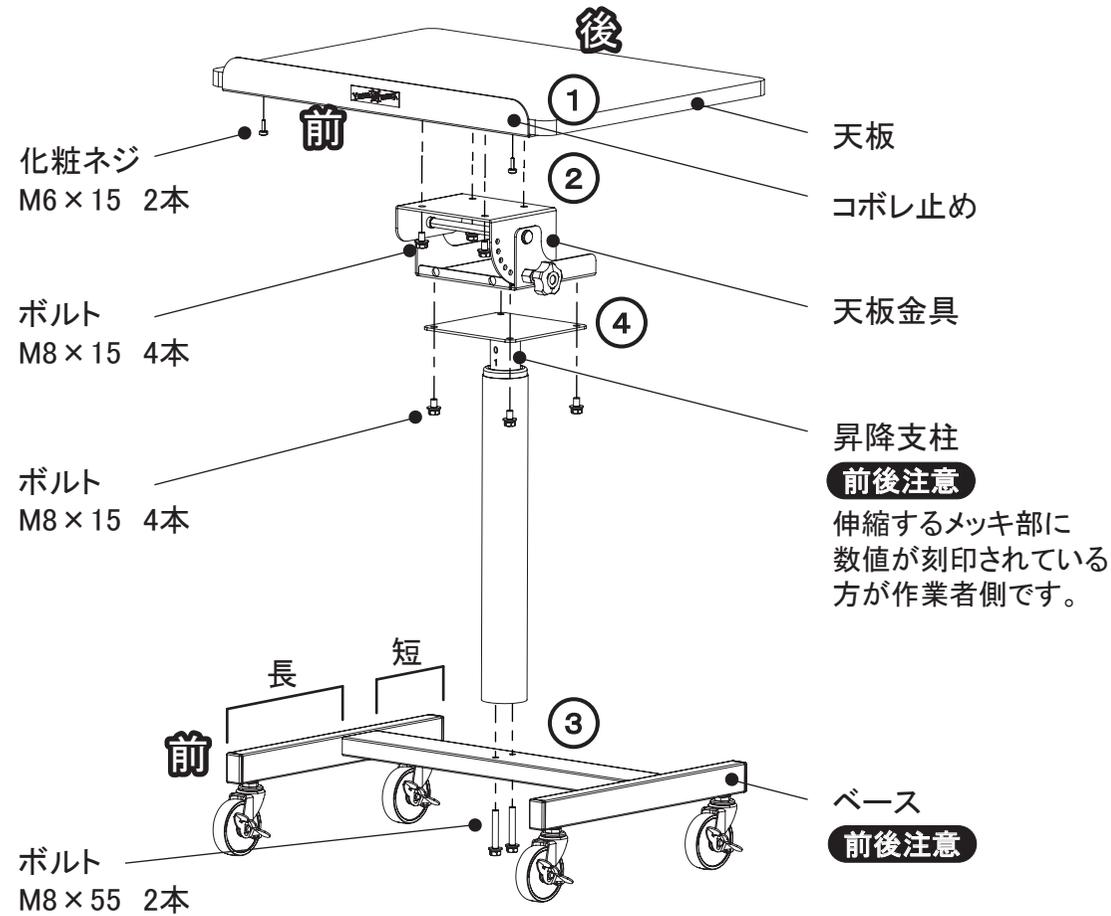
組立の前に

1. 組み間違いを防ぐため、組立手順に従って商品の組立を行ってください。
2. 組立の工具は、プラスドライバー(#3) とスパナ(13) をご使用ください。
インパクトドライバーはネジ部が破損する恐れがありますので使用しないでください。

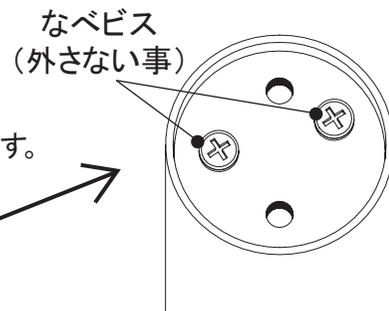
組立手順



1ページ目の組立の前に読んでから組立を行ってください。



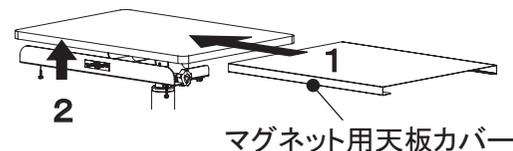
- ① 天板とコボレ止めを化粧ネジ(M6×15)で固定します。
- ② 天板と天板金具をボルト(M8×15)4本で固定します。
Point ドライバー1本で取り付ける場合は、天板金具を90° 傾けることで、天板と天板金具を取り付けできます。
- ③ 昇降支柱とベースをボルト(M8×55)2本で固定します。
注意 昇降支柱の下端に付いているなべ頭のビスは取り外さないでください。
- ④ 天板金具と昇降支柱をボルト(M8×15)4本で固定します。



オプションで「マグネット用天板カバー」を取り付ける場合

コボレ止めを外して(もしくは付ける前に)、天板の横からマグネット用天板カバーをスライドしてかぶせ、化粧ネジでコボレ止めと共締めします。

用途: 図面などをマグネットで固定することができます。



高さ調整方法

注意 必ず天板に何も載っていない状態で操作してください。

天板の高さは、H800～1100mmの範囲内で20mm毎に調整することができます。

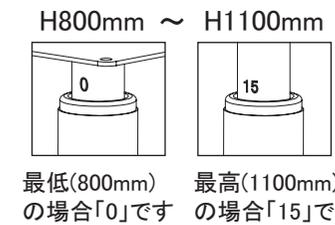
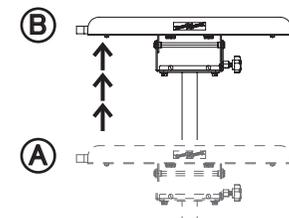
高くする場合

天板の両端を持ち、上に持ち上げるだけで天板を高くすることができます。20mm上がる毎に「カチッ」と音が鳴ります。

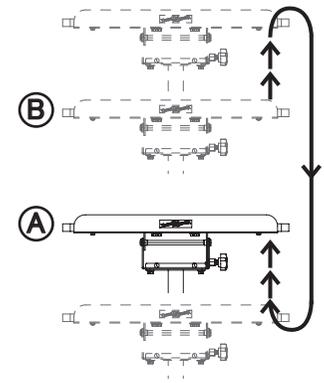
低くする場合

天板の両端を持ち、一番上まで持ち上げた後、天板を下に押さえて一番下まで下げます。その後、左記の方法で任意の高さに設定します。

①から②に高くする場合



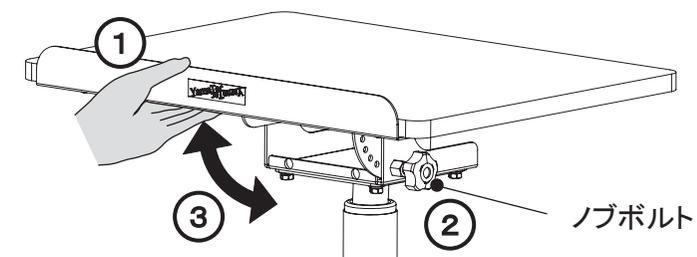
②から①に低くする場合



角度調整方法

注意 必ず天板に何も載っていない状態で操作してください。

天板の角度は、0～90° の範囲内で15° 毎に調整することができます。



- ① 天板を片手で支えます。
- ② 天板を支えながらナブボルトをもう片方の手で少し緩めます。
注意 必ず天板を支えた状態でナブボルトを緩めてください。
- ③ 天板の角度を調整し、ナブボルトを締め込んで完了です。
注意 ナブボルトを締め込む際、ナブボルトの先端が穴に入っていることを必ず確認してください。

